

# 第4回教育委員会（定）

開会日時 平成30年 2月 13日（火） 午前 10時00分  
閉会日時 午前 10時53分  
開会場所 教育委員会室

## 出席者

教 育 長	中 川 修 一
委 員	高 野 佐紀子
委 員	青 木 義 男
委 員	松 澤 智 昭
委 員	上 野 広 治

## 出席事務局職員

事務局次長	矢 嶋 吉 雄	地域教育力担当部長	松 田 玲 子
教育総務課長	木 曾 博	学 務 課 長	三 浦 康 之
生涯学習課長	水 野 博 史	地域教育力推進課長	石 橋 千 広
指 導 室 長	栗 原 健	教育支援センター所長	新 井 陽 子
新しい学校づくり課長	佐 藤 隆 行	学校配置調整担当課長	大 森 恒 二
施設整備担当副参事	荒 張 寿 典	中央図書館長	荒 井 和 子

## 署名委員

教育長

委 員

午前 10時 00分 開会

教 育 長 おはようございます。本日は、4名の委員の出席を得ましたので、委員会は成  
立いたしました。

それでは、ただいまから平成30年第4回の教育委員会定例会を開催いたしま  
す。

本日の会議に出席する職員は、矢嶋次長、松田地域教育力担当部長、木曾教育  
総務課長、三浦学務課長、水野生涯学習課長、石橋地域教育力推進課長、栗原指  
導室長、新井教育支援センター所長、佐藤新しい学校づくり課長、大森学校配置  
調整担当課長、荒張施設整備担当副参事、荒井中央図書館長、以上12名でござ  
います。

本日の議事録署名委員は、会議規則第29条により、高野委員にお願いいたし  
ます。

本日の委員会は、2名から傍聴申し出がなされており、会議規則第30条によ  
り許可しましたので、お知らせいたします。

○議案

日程第一 議案第2号 平成30年度区立学校管理職配置に係る内申について

(指導室)

教 育 長 それでは、議事に入ります。

日程第一 議案第2号「平成30年度区立学校管理職配置に係る内申」につ  
きましては、人事案件のため、非公開による審議とし、議事進行の都合上、委員会  
の最後に処理することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 では、そのように処理いたします。

○報告事項

1. 人事情報(都費職員・平成30年1月分)

(指-1・指導室)

(区費職員・平成30年1月分)

(総-1・教育総務課)

教 育 長 それでは、報告事項を聴取いたします。報告1「人事情報」につきまして、初  
めに都費職員について、指導室長から、続いて、区費職員につきまして、教育総  
務課長から報告願います。

指 導 室 長 それでは、資料「指-1」をご覧ください。

都費職員に関する人事情報です。

1番、正規職員についてですが、1月末時点の教職員数は、括弧の休職者など  
も含めて、総勢1,839人です。

前月と比較して、1名の増となりました。

増えた要員ですが、1月1日付で、志村第三中学校の副校長が着任したことで

す。  
休職者等は、全体として134名で、前月と比較して1名の増となっています。  
内訳としては、育児休業に入った者が1名おります。

次に、2番の期限付任用教員についてです。

期限付任用教員については、1月末時点で合計53名、12月末時点からの増減はございません。

説明は以上でございます。

教育総務課長 続きます、区費職員について、資料「総-1」をご覧ください。

まず、一般職員・再任用職員・再雇用職員です。

1月31日現在の状況ですが、総計で171人、うち休職者が1名で、前月と変更はございません。

資料の次のページ、2、非常勤職員です。

前月803人に対して、当月802人。1名減でございます。

その原因は、表の中段、特別支援学級介添員が1名減となっております。

説明は以上です。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

よろしいでしょうか。

(はい)

#### ○報告事項

2. 平成29年度生徒会交流会及び生徒会交流発表会・いじめ防止シンポジウム  
・10年後の板橋のまちづくりプラン発表活動報告について

(指-2・指導室)

教 育 長 それでは、報告2「平成29年度生徒会交流会及び生徒会交流発表会・いじめ防止シンポジウム・10年後の板橋のまちづくりプラン発表活動報告」につきまして、指導室長から報告願います

指 導 室 長 それでは、「指-2」の資料をご覧ください。

生徒会交流発表会及びいじめ防止シンポジウム・10年後の板橋のまちづくりプラン発表についてご報告いたします。

生徒会交流会は、毎年、各中学校の生徒会の様々な活動について交流するとともに、いじめ問題について、いじめ根絶に向けた生徒会としての活動を交流し、意見交換を行う場を設けています。

今年度は12月と1月に教育支援センターでいじめ防止と10年後の板橋のまちづくりについてグループ協議を行い、1月29日に文化会館小ホールで発表会

を行いました。

1月の交流会におきましては、委員の皆様にもご参加いただき、グループでのご指導もいただきました。ありがとうございました。

1月29日の発表会についてですが、資料の2ページ目をご覧ください。

当日は、生徒142人を含め、合計209人が参加いたしました。

ご参加いただきました委員の皆様、ありがとうございました。高野委員におかれましては、シンポジストとしてご登壇をいただきました。ありがとうございました。

第1部では、各中学校の生徒会活動の取組の発表がありました。

学校生活をより良くするための取組や、いじめ防止のための取組などの紹介がありました。

第2部では、いじめ防止シンポジウムとして、いわゆるネットいじめについて、現状やいじめの原因、対応策について、生徒たちができる取組について協議が行われました。

第3部では、10年後の板橋のまちづくりプランについて、教育の分野では、国際交流活動を広げるなど、福祉・介護の分野では、板橋のロボットブランドをつくり、介護に役立てていくなど、区民として前向きに未来をつくっていかうとする様々な提言がありました。

ご報告は以上でございます。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。  
松澤委員、感想も含めて、いかがでしょうか。

松 澤 委 員 これまで4年間参加させていただきましたが、中学生は生徒会の生徒たちなので、発言など、とてもしっかりした意見が多かったのですが、学校活動の中でのいじめに対しての意識が強くなったなということは感じ取れます。

また、板橋のまちづくりプランについては、昨年と今年を比較してみて、毎年、参加している生徒によって意見が違っているので、この場で多く出された意見等をまとめていただくと、中学生はこのようなことを思っているのかなというものが出るかなと感じました。非常に良い会だと思っています。

教 育 長 ありがとうございます。  
青木委員、いかがでしょうか。

青 木 委 員 松澤委員とほとんど同じ感想なのですが、10年後の板橋のまちづくりプランのことで言いますと、あの場に出てくる話というのは、生徒会ということもあり、とても良い話が多いなという印象なのですが、もし可能であれば、もう一歩踏み込んで、それを実現する取組のようなものが、何かプロジェクトのような形で動き出すと本当に良いと毎年思っています。

いじめについても、少しずつ生徒会の取組自体を、学級の中でも、学校の中で

も広げていくという動きが、やはり全体的な雰囲気づくりに役立っているのではないかという感覚も持っているので、せっかく10年後の板橋のまちづくりを考えているのであれば、何か少しずつ動かしていってもらいたいと思います。実現に向けて努力しているということがあると、周りが巻き込まれていって、さらに良い取組になるのではと思いますので、来年度も開催されるのであれば、その辺りも見据えていっていただきたいと思います。

以上です。

高野委員 生徒会の発表を聞いていて、向原中学校の発表で、いじめに対してアンケートを1回とるだけではなくて、何回か繰り返すことで、どのような行動がいじめ防止に対して有効だったのかを検証するというような取組を行っていた点が大変印象に残りました。

また、生徒会では様々なボランティア活動を行っているということも分かりました。1月21日に青少年表彰があったのですが、その中の2部で、中学生ボランティアフォーラムというものがあり、そこでジュニアリーダーの活動と、なります児童館・しらさぎ児童館を中心とした中学生のボランティアの活動についてのご紹介があったのですが、生徒会がもっと様々なところで、また自主的にボランティア活動を行っている点についても、今後、青少年表彰の中で取り上げることができるのであれば、取り上げてもらえたら良いなと思いました。

今年は板橋第一中学校の生徒会が表彰を受けたため、参加していたのですが、その中で板橋第一中学校の生徒会の生徒が、そのボランティア活動に対して質問もしていました。

生徒会の生徒はボランティア活動に対して、とても真剣に向き合っているなどという印象を、その青少年表彰の際にも受けましたので、今後も広く区民の皆様に分かっていただけるよう、発信していただけると良いなと思いました。

上野委員 興味深いお話をたくさん聞きながら思いましたが、高野委員が言われたように、私も含めまして、不勉強なところもありまして、情報発信の方法について、ホームページであったり、動画であったりが見られる時代になっていると思いますので、工夫をしていただくと、より色々な意味で、活動自体にも影響が出てくるのではないかと思います。賛否両論はあると思いますが、まずは発信しない限り、こういう企画を行っていますということ自体も含めて、また内容もそれに伴って膨らんでいくのではないかなと思いますので、以前からお話ししているように、教育委員会からの情報発信の方法を工夫していただければと思います。

教育長 ありがとうございます。

とても良い企画で、区によっては、子ども議会というような形で、議会を活用しながら行うようなところもあるのですが、板橋区においては、教育委員会として、このように生徒会交流発表会があります。

先ほど青木委員がおっしゃったように、子どもたち自身に問題や課題を考えさ

せ、ただ発表して終わりにはならないよう、行動・実行につなげられるような形にまでうまくもっていくことができれば良いなと思っています。

いじめの防止については、各学校とも積極的に進めているようですが、10年後の板橋のまちづくりプランというものは、教育ビジョンができて、それでは、子どもたちにも考えてもらおうという発想だと思うのですが、上野委員がおっしゃったように、保護者や区民等にもつなげて、子どもたちはこのようなことを考えているのだなということ、例えば4月辺りの教育委員会の広報誌などにも載せることができればなと思っています。

担当の方、お疲れさまでした。ありがとうございました。

それから、町連や青健、あるいは民生・児童委員などといった、子どもたちとかかわりのある方をお招きするために、招待状などを出すと、興味のある方はいらしてくださるかもしれないと思いました。

ありがとうございます。

#### ○報告事項

#### 3. 平成30年度学校支援地域本部事業新規実施校について

(地-1・地域教育力推進課)

教 育 長     それでは、報告3「平成30年度学校支援地域本部事業新規実施校」につきまして、地域教育力推進課長から報告願います。

地域教育力推進課長     それでは、「地-1」の資料をご覧ください。

平成30年度学校支援地域本部事業新規実施校が決まりましたので、ご報告させていただきます。

平成30年度の新規実施校13校ということで、これで全73校の区立小・中学校、全校で実施することとなります。

小学校は、桜川、弥生、高島第一の3校。

中学校は、板橋第二、板橋第三、志村第一、志村第四、上板橋第一、上板橋第二、桜川、赤塚第一、高島第一、高島第三の10校ということで、来年度から学校支援地域本部を実施することとなっております。現在、コーディネーターの推薦を各学校にお願いをしているところでございます。また、新任コーディネーターにつきましては、3月になりまして、研修等を実施させていただく予定でございます。

校長先生方には、積極的に行っていただけるということで、快くお受けいただいております。

説明は以上でございます。

教 育 長     質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

よろしいでしょうか。

いたばし学び支援プランに掲げられた平成30年度全校実施ということが実現できることは大変うれしく思います。ありがとうございました。

○報告事項

4. 「板橋区コミュニティ・スクール」導入に係る検討状況について

(地－２・地域教育力推進課)

教 育 長 それでは、報告4「「板橋区コミュニティ・スクール」導入に係る検討状況」につきまして、地域教育力推進課長から報告願います。

地域教育力推進課長 それでは、「地－２」の資料をご覧ください。

コミュニティ・スクール導入に係る検討状況についてご報告いたします。

コミュニティ・スクール導入に向け、平成30年度に区立小・中学校10校で「コミュニティ・スクール推進委員会」を設置いたしますので、その推進委員会に係る設置要綱（案）について検討しておりますので、ご報告いたします。

コミュニティ・スクール推進委員会設置要綱（案）でございますが、目的といたしましては、このコミュニティ・スクール推進委員会を学校ごとに設置して、コミュニティ・スクール委員会の準備会として設置するものでございます。

趣旨といたしましては、学校運営への支援及び協力等について協議する場となるコミュニティ・スクール委員会の設置に向けた準備を行う。

また、教育委員会と連携・協力し、学校運営の充実や改善等、地域とともにある学校づくりが効果的に推進できるよう取り組むものでございます。

次に、指定ということで、教育委員会は、推進委員会を設置する学校を指定し、当該学校を「板橋区コミュニティ・スクール導入推進校」と称するものでございます。

協議事項につきましては、現在の学校運営連絡協議会で協議事項とされております、学校運営に関すること、学校評価に関すること、学校運営への支援に関すること、それらに加えて、コミュニティ・スクール委員会の準備に関することとさせていただきます。

また、学校運営の基本的な方針の承認、学校運営等に関する意見の申し出、教職員の任用に関する意見の申し出という、学校運営協議会の役割でございます、この3つにつきましても、コミュニティ・スクール準備段階でございます、このコミュニティ・スクール推進委員会において、意見をいただけるようにすることで、実際にどのような意見が出るのかというところですが、試行の段階からご意見をいただければと思っております。

資料の次のページをご覧ください。

委員の任命についてでございます。

推進委員会の委員につきましては、校長及び副校長を含む12名以内とし、教育委員会が校長の推薦により任命するものとしております。

守秘義務につきまして、委員は、職務上知り得た秘密及び個人に関する情報を漏らしてはならない。また、退任後も同様とする。なお、委員に委嘱される際に、守秘義務に関して誓約書をいただくことを考えております。

委員の任期につきまして、委員の任期は1年とし、再任は妨げないものとした

します。また、委員たる要件を欠く場合は、要件を欠くに至った日までとするとしております。

委員長と副委員長につきまして、推進委員会には委員長と副委員長を置く。推進委員会におきましては、委員長は校長の職をもって充てることを考えておりません。

会議の開催につきまして、会議は委員長が招集する。また、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことはできないとしております。また、回数につきましては、年に5回程度を予定しているところでございます。

会議の公開につきまして、推進委員会は公開とすることで考えております。ただ、個人情報や児童・生徒の安全対策等に関して協議する場合、また、事情によっては非公開とし、傍聴を認めないものとする事ができるとしております。

会議の報告につきまして、学校だよりへの掲載等、適切な方法により積極的に公開をお願いしたいと考えております。

このほか、推進委員会の運営状況についての把握や指導・助言等教育委員会の役割、委員の解任、事務局、委任等の内容を明記しているものでございます。

また、推進委員会についての要綱ということでございますので、平成30年4月1日から32年3月31日までの2年間で適用するものと考えております。

コミュニティ・スクール推進委員会の運営に関する細かい内容につきましては、この下に実施要領等を定めていくことを考えております。

今後の予定でございますが、推進委員会設置予定校の委員の推薦をお願いしているところでございます。

また、平成30年度の推進委員会を、年間でどのようなスケジュールで行う予定であるかということを作成していただく予定でございます。

30年度コミュニティ・スクール推進委員会設置予定校は、資料の3ページに記載されております10校でございます。以前、ご報告したときには、志村第三中学校が入っていたと思いますが、事情によりまして、赤塚第三中学校に変更となっております。

こちらの10校につきましては、昨年の7月15日に、説明会を実施したところでございます。

また、2月14日には、外部の方を含めたコミュニティ・スクール検討会を実施する予定でございます。

なお、こちらの10校につきましては、4月の定例校長会において、「板橋区コミュニティ・スクール導入推進校」として指定させていただく予定でございます。

説明は以上でございます。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

高 野 委 員 会議の公開というところで、傍聴ができるということなのですが、会議の開催についての通知や告知などについて、どのような形で行うのか、皆さんに伝わる



ようにお知らせしないと、来ていただけないと思うので、その点についても、記載内容に入れた方が良くないかと思いました。

また、推進委員会の設置とは少し話が離れてしまうのかもしれませんが、今年度、何校か学校運営連絡協議会に参加させていただいたのですが、会議をきちんと行ってはいるのですが、委員の参加がすごく少なくて、実際にはあまり会議の形としては成立していないなど感じる場所もあつたり、また、全く開催していない学校があつたという話を聞いたりもしました。

学校だよりを拝見していると、学校によって、連絡協議会のメンバーを全部書いて、そして開催されるたびに、話合いやご意見の内容を丁寧に報告している学校もあれば、全く外部に対して学校運営連絡協議会のメンバーなども知らせていない学校もありました。

将来的には全ての学校でコミュニティ・スクール化されるわけですから、学校運営連絡協議会も徐々に形を整えて、スムーズに行えるよう、学校支援地域本部が、もう平成30年度には全校で実施されるわけですから、それに足並みをそろえる形で運営連絡協議会についても、内容を熟成させていく必要があると思っております。

この要綱については、とても良いと思うので、この推進委員会設置校以外にも、このようなことを、強制的ではなくて、努力目標として掲げて取り組んでいただけたら、今後のコミュニティ・スクール化に、スムーズに移行できるのではないかと思います。

地域教育力推進課長 会議の公開につきましては、委員のおっしゃるように、毎月出されています学校だよりに、開催日程のお知らせや話合いの内容などを記載していただければ良いかなと今のところは考えております。

学校にご負担のない形で、最初はゆっくり進めていきたいと考えております。

また、来年度、10校進めていくことになりましたので、定例校長会等でも色々ご報告させていただいて、残りの学校につきましても、31年度から推進委員会を設置していただきますので、それに向けた準備ということで用意していただきたいと考えております。

高野委員 よろしくお願ひします。

教 育 長 そのほか、いかがでしょうか。

松澤委員 まず、コミュニティ・スクールについて、平成32年度から実施ということで話が進んでいるところですが、30年度から学校支援地域本部を実施された学校もある中で、32年度にこのコミュニティ・スクールを実施するとなると、どちらも並行して実施していくというような認識なのですね。

その辺り、どのようにお考えなのかをお聞きしたいのと、コミュニティ・スクール推進委員会設置予定校10校のうちの、中学校だけ見てみると、赤塚第三中

学校では、平成28年度から学校支援地域本部を実施されているので、実質、まだ一、二年くらいしか活動してないということになりますが、ほかの2校は結構前から実施されているということで、そのような学校を中心に選んでいらっしゃるのかなとは思っていたのですが、どのような経緯でこの10校が設置予定校として指定されることになったのかをお聞きしたいと思います。

最後に、コミュニティ・スクールを運営していくに当たって、学校であっても、分かっている方が多い中で、地域や保護者の方は、全く理解ができていないという声をよくお聞きします。その辺りも踏まえて、学校にかかわる事業について、もう一回、すみ分けをしていただくと良いのかなと思います。コミュニティ・スクールというものに対する説明は受けているのですが、そのほかの、例えば寺子屋事業など、ほかにも色々な活動があると思いますが、あいキッズも含めて、また、学校支援地域本部などのほか、学校の色々なPTA行事であるとか、学校行事であるとか、土曜プランなども含めてなのですが、色々な行事がある中で、さらに先ほど高野委員がおっしゃっていた学校運営連絡協議会など、そういうものを全て含めて、保護者の方や一般の地域の方に説明がつくような、分かりやすいものをつくっていただくことが大事なのではと思いますので、その辺りもご検討いただいて、説明を一回していただくと良いかなと思いますので、よろしくお願いします。

地域教育力推進課長

平成32年度からのコミュニティ・スクールの実施につきましては、学習指導要領が32年度から変わるということがございまして、それに合わせて実施していければと考えております。

学校支援地域本部については、30年度から全校実施ということでございまして、2年間はそれぞれ学校支援地域本部を少しずつ充実させていただいて、32年度からコミュニティ・スクール委員会と学校支援地域本部が連携しながら進めていけるような体制をつくっていただきたいと考えております。

また、こちらの設置予定校10校につきましては、松澤委員のおっしゃるとおり、学校支援地域本部の活動が比較的活発で、学校との連携も整っているようなところということで決めさせていただきました。

志村第三中学校につきましては、事情により難しいところがありましたときに、赤塚第三中学校から、ぜひ実施したいというお話がありまして、もともと赤塚第三中学校は、地域の方が大変積極的にかかわっていただいている学校でしたので、学校支援地域本部につきましては今年度からということでございましたが、校長先生自身も前任校で、学校支援地域本部を積極的に行っていた経緯もございましたので、赤塚第三中学校にお願いしたところでございます。

PRにつきましては、現在でも、推進委員会を置いていただく学校につきましては、今年度、学校運営連絡協議会を行っているときなどに、私と担当者とは伺いまして、これから行われますコミュニティ・スクールがどのようなものなのかということについて、説明させていただいているところでございます。

また、色々な機会に、教育長からも、コミュニティ・スクールについて、ご説

明いただいているところでございます。

来年度は、少しずつ地域の方に向けて、分かりやすく説明をしていきたいと考えておりますし、学校運営連絡協議会にも、校長先生からご依頼があれば、私どもで伺って、コミュニティ・スクールはこういうものですかということをご説明に伺いながら広めていきたいと考えております。

なお、コミュニティ・スクールは、あくまでも会議体ということでございまして、それ自体が活動するわけではありません。その中で、学校の運営方針ですか、子どもたちの育成目標に沿って、それでは、それぞれ地域の方がどのような活動をしていけば良いのかということをご議論するところであると思っております。

それを踏まえて、寺子屋や青健の活動など、そうしたものに意見が反映されていけば良いと考えているところでございます。

また、学校支援地域本部につきましては、両輪ということでございますので、コミュニティ・スクールでいただいた意見を、学校支援地域本部が学校を支援する活動に反映していった活動するようなことになるのかなと考えているところでございます。

以上でございます。

松澤委員 今のお話を聞いておまして、概要としての説明はつくのですが、実際に人材の確保といたしまして、例えば中学校と小学校が同じ地区や地域にある場合、どちらの学校のコミュニティ・スクールの役員になるのかなどといった部分も、非常に難しい問題となるのかなと思いますので、その辺りの具体的なことと、例えば、校長先生の裁量でそうした委員の皆さんに偏りが生じてしまうといいますか、そのようなことも懸念されるのではないかなと思います。

ですから、その辺りは事務局の方でも、色々調整いただいて、できるだけ分散していただき、各学校にバランス良く、地域で熱心に活動されている方に入っていただくのが理想だとは思っております。今実施している活動のメンバーが中心となるというのは確実ではあるのですが、それに加えて、新しい方の発掘といいますか、そのようなことを行いながら、バランス良く各学校へ配置できると良いかなと思いますので、お願いしたいと思っております。

地域教育力推進課長 ありがとうございます。

教 育 長 ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。  
よろしいでしょうか。

(はい)

#### ○報告事項

5. 「第24回いたばし国際絵本翻訳大賞」審査結果について

(図-1・中央図書館)

教 育 長     それでは、報告5「第24回いたばし国際絵本翻訳大賞」審査結果につきまして、中央図書館長から報告願います。

中央図書館長     資料「図-1」をご覧ください。

第24回いたばし国際絵本翻訳大賞の審査結果についてご報告いたします。

まず、応募状況ですが、英語部門798件、イタリア語部門244件で、そのうち区内在住者からの応募は、英語部門が72件、イタリア語部門が15件と、日本各地や外国からもたくさんの応募がございました。

中学生部門の応募状況につきましては、区立中学校9校で178名でした。

昨年度は8校でしたので、1校増え、その中には新たに5校の中学校から応募がありました。

参加生徒数につきましては、昨年度より多く応募がございました。

審査の結果です。

2に記載の13名の方が、最優秀翻訳大賞などの賞を受賞されました。

英語部門の課題絵本「The Journey」につきましては、難民・国境をテーマとした作品で、子どもたちにも絵本を通じて分かりやすく世界情勢を伝え、国際理解を深めるためにも、日本語の翻訳文で出版したい作品ということで、課題として選ばれたものです。

審査員の講評によりますと、英文はシンプルで、単語は比較的易しいものの、社会的背景の理解が翻訳の違いにもあらわれているということです。

また、回を重ねるごとに翻訳のレベルが上がって、日本語の表現も優れたものになってきているとのことでした。

さらに審査につきまして、応募者の情報は伏せまして、翻訳文書のみで実施しているのですが、イタリア語部門につきましては、今回、イタリア在住者の受賞者が多いという結果になりました。

こちら、審査員の講評によりますと、日常的にイタリア語の会話に接している状況があると、翻訳の言葉のテンポや間合いなど、イタリア語を捉えることができるので、このような結果になったのではないかと考えてございました。

資料の2ページ目に記載のとおり、表彰式は中学生部門につきましては、3月8日の午後4時、区役所1階におきまして、また、一般の部につきましては、翻訳作品の出版後、ボローニャ・ブックフェアにおきまして実施する予定でございます。

また、一般の部の表彰式には、今回から中学生部門の受賞者を招待する予定です。翻訳を志している一般の部の受賞者の生の声ですとか、審査員の講評について、中学生に直接聞く機会を設けたいと考えてございます。

説明は以上です。

教 育 長     質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。  
よろしいでしょうか。

(はい)

○報告事項

6. 「いたばし子ども絵本展」の開催及び「いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門表彰式」の実施について

(図-2・中央図書館)

教 育 長 それでは、報告6「「いたばし子ども絵本展」の開催及び「いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門表彰式」の実施」につきまして、中央図書館長から報告願います。

中央図書館長 資料「図-2」をご覧ください。

「いたばし子ども絵本展」の開催及び「いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門表彰式」の実施について、ご案内いたします。

2に記載のとおり、3月1日から3月8日まで、6日間、区役所1階のイベントスペースにおきまして、いたばし子ども絵本展を開催いたします。

また、3月8日には、会場内で、先ほどご紹介いたしました、いたばし国際絵本翻訳大賞の中学生部門の表彰式を行います。

いたばし子ども絵本展は、昨年度から実施したもので、内容は4に記載のとおり、海外絵本の展示や翻訳大賞入賞者の翻訳作品のご紹介のほか、絵本づくりワークショップで作成した小学生の手づくりの絵本を展示いたします。

資料の次のページにお進みください。

絵本づくりワークショップにつきましては、現在、3つの小学校で子どもたちがそれぞれの絵本を製作中で、作品の完成が楽しみなところです。

写真は、ワークショップ冒頭の片岡先生の講義の様子でございます。

絵本展並びに表彰式につきましては、お忙しい時期ではありますが、ぜひ、ご来場賜りますようご案内いたします。

以上です。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

よろしいでしょうか。

絵本づくりの取組について、中学校ではなかなか始まらないものでしょうか。

中央図書館長 美術の関係の部など、ぜひ取り組んでいただければと思っております、中学校校長会にもお話をし、始めていただけるように働きかけてまいります。

教 育 長 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

(はい)

教 育 長     では、次に、教育委員会次第にはありませんが、追加報告事項はありませんでしょうか。

それでは、私からですが、いくつかぜひご報告願いたいことがございまして、1つが、2月2日の18時30分から行われた教育懇談会について、もう1つが、2月4日の東京駅伝、最後に、i-youthダンスフェスタ、それぞれ、どのような様子だったのかも含めて、ご報告願います。

教育総務課長     教育懇談会につきましては、委員の皆さんにもご協力いただきました。ありがとうございます。

今回は、特に保護者の参加者が70人で、しかも、ほぼ全ての学校から参加者がありました。各学校のご協力とともに、本事業に対する理解が進んだ結果と考えています。

今回、新たなチャレンジとして、懇談会の発表を3グループで行った後、個人からの発言の機会を設けました。その中で、本当に率直なご意見もお聞きすることができたと思っております。ご意見につきましては、しっかりと受けとめる必要があると思っております。また、保護者の方々が、まだ学校教育に対する理解が十分でない部分も、あるものと考えます。そのような部分については、私どもで積極的にPRをしなければいけない。これは教育委員会全体の反省点として考えるべきところだと思います。

今後も工夫のうえ、進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

教 育 長     ありがとうございます。

指 導 室 長     それでは、東京駅伝についてご報告いたします。

2月4日の日曜日、味の素スタジアムで開催されました。結果としては、女子の部が13位、男子の部が6位ということで、昨年度よりも、若干、結果としては下回っているところがありますが、全体的には生徒たちがよく頑張ったのではないかなと思います。

特に、まず女子の部ですが、スタートは30番くらいからという状況だったのですが、徐々に順位を上げていくというような状況でした。

そして男子の部では、最初にトップ争いをして、スタジアム内では先頭を走るというような姿もあったのですが、結果として、トップはとれなかったところですが、本区は、応援する姿が非常に良かったかなと思います。

スタジアム内はもちろんですが、走り終わった生徒が駆けつけて応援する。そして、選手が周回をしていますので、1つの場所で応援したら次の場所に駆けつけて応援するなど、試合に出られなかった生徒、それから部活の後輩の生徒など、こうした板橋区の中学生在がみんなの力で盛り立てていった、そのような大会だったかなと思っております。

練習も、15回くらい重ねていった、この成果が非常にあらわれたかなと思

ています。協力していただいた先生方が、土日も練習に本当に一生懸命に力を注いでいただいたことにも感謝したいと思っています。

以上でございます。

教 育 長      ありがとうございます。

生涯学習課長      それでは、2月4日に行われました i - y o u t h ダンスフェスタのご報告をさせていただきます。

区立文化会館の小ホールで行われたものでございます。こちら、大原、成増生涯学習センターがオープンしまして1年が経過したということで、両館合同のフェスティバルとさせていただきます。

当日は20以上のグループのダンサーが集まりまして、コンペティション部門と、発表の部門とに別れて、ダンスを披露しました。コンペティション部門で優勝したのは大学生の二人組のダンスチームということで非常に素晴らしいダンスだったと思います。

ブレイクダンス、ストリートダンスということで、区役所としては、今までなかなか行われていないような種類のイベントだったと思いますが、これを契機にして、両生涯学習センターの今後の発展に寄与できるイベントだと思っております。

小学生として若木小学校のダンスの子どもたち、また近隣の田柄高校や帝京高校のダンスの人たちも出てくれました。

プロのダンサーが踊りを披露してくれたり、成増の方に来ている不登校のお子さんもお手伝いとして参加してくれたり、きらびやかでありながらも、おとなしい子も参加できるような、良いイベントであったと思っております。

以上です。

教 育 長      ありがとうございました。i - y o u t h ダンスフェスタについては、本当に中身の濃いものであると同時に、小ホールが入り切れずに、立ち見のうえに、まだ後ろに人がいるほどの状況でしたので、会場設定等についても、今後の課題なのかなと思われました。ありがとうございました。

そのほか、よろしいでしょうか。

(はい)

教 育 長      それでは、先ほど申し上げましたように、日程第一 議案第2号につきましては、非公開として聴取いたします。

なお、この議案をもって本日の教育委員会は閉会いたしますので、傍聴人の方はご退席願います。ありがとうございました。

(傍聴人 退席)

○議案

日程第一 議案第2号 平成30年度区立学校管理職配置に係る内申について  
(指導室)

(非公開)

教 育 長     それでは、以上をもちまして、本日の教育委員会を終了いたします。

午前 10時 53分 閉会